

尾崎白浜地区復興まちづくり協議会・地権者連絡会 議事要旨

記

- 日時 平成 26 年 7 月 25 日（金）18 時 00 分～18 時 45 分
- 場所 尾崎白浜コミュニティー番屋
- 次第
 1. 市長からの挨拶
 2. これまでの経緯
 3. 土地利用計画
 4. 今後のスケジュール
 5. 意見交換

かさ上げはいつから始まるのか？ 土地利用計画図で黄色い復興公営住宅用地のかさ上げ、そして復興公営住宅はいつ頃できるのか？

→ 現時点の予定は、敷地上にある郵便局の移設が平成 27 年 3 月に終わると調整して盛り土を行うため、復興公営住宅住宅地整備は平成 27 年 9 月に終わる予定です。また、旧尾崎小学校の解体が終わりましたので、小学校跡地において復興公営住宅の整備をこれから進めます。

現在仮住まいの消防屯所の整備に関する説明をお願いしたい。旧尾崎小学校を壊した時、復興公営住宅の範囲によっては話があると聞いていたが、できないのか？

→ 消防屯所の位置ですが、交渉中で何処に建てるかが確定しておらず、用地交渉が進み次第、建設を計画しますので、しばらくお待ち下さい。

（市長）旧尾崎小学校校庭が計画地でしたが、校庭と道路に段差がありすぎ、屯所と集会所の一体整備が難しいことがわかりました。そのため、今は屯所と集会所を別々に整備するか、一体整備できる用地があるかを探しながら、計画しているところです。

盛り土造成をすると、地盤調査で地盤が悪い場合、補強をしないと建築許可が降りないと建築屋さんから聞いたが、地盤は補強してもらえるのか？ 自分たちで補強すると何百万円もかかると聞いているが、地盤補強は無くても建築許可が降りるのか？

→ 盛り土をする場合、一定水準の品質確保が必要で、一般住宅では 3 トン/㎡程度の地盤力を必要とします。そこで、それを目標にした強度で造成を行い、一般住宅ならそのまま建てられる地盤造成を行うことから、建築許可のための地盤補強はいらないと思います。しかし、例えば 3～4 階建てや特殊建物であれば、ある程度基礎を検討していただく必要があります。

造成地盤が緩くて建物が傾いたらどうなるのか？

- 地盤が緩んで傾かないよう工事を行います。ただし、例えば異常気象、大地震など何かがあった場合は、他地区と条件は同じと考えます。

「②避難路として活用」（説明資料 P10）は、津波が来たら尾崎神社に上がれと言うことか？ 東日本大震災時の津波が来たとき、神社の下は歩けなくなっており、ずっと上の山道を歩いた。あまり歩けない高齢者もあり、特に夜は歩けないので、整備する住宅地の道路を東側までつなげられないのか？

- 神社は津波をかぶらないため、指定はされていませんが、避難場所として活用してほしいと考えています。
- 整備する住宅団地につながる道路のより東側への延長は認められておらず、その整備は厳しい状況です。

東側に避難するための道路整備が厳しいのであれば、現在南東側の山で木を切る時に利用している途中の3区まで整備済の道路を活用し、避難所まで車で移動できるようつなげれば、問題は解決すると思う。東日本大震災の津波時は橋を架け、高齢者の手を引き、背負って避難しなければならなかった。

- 木を運ぶための道路であり、勾配が急で幅が狭いなどの問題があります。
- 他地区でも横軸の避難路は、これから地域に入りどう整備したらよいかを詰めていくので、一緒に考えさせてください。ただ、車が通れる道の整備は難しく、他地区と共通の課題として取り組みます。

震災直前にできた林道で、自衛隊等による支援が得られ、当部落は大きく助けられた。そのため、一概に林道と言わず、歩く道でも良いので、災害時の利用をまず検討してもらえればと思う。

- 了解です。農林課とも協議します。

避難所は、今まで学校だったが、それが無くなり困る。新たに作る造成地の道路から海側約20軒の人も、孤立せずに一緒に避難できる場所をつくる検討をお願いしたい。

- 避難所については、体育館は将来の維持が困難なためになくしましたが、代替施設は必要です。そのため、両地域が共通して使える避難所は、先ほどの消防屯所と併せて今後検討を進めていきます。

元教育委員会で所轄していた保育園があるが、将来の扱いはどのようになるのか？

- 保育園から連絡があり、その土地は漁協の土地ですが、もう今は保育施設としては使わないので、いずれ壊すと連絡が来ています。

浜で仕事をしている人が、地震で津波が来る時に避難する場所は、車で行くことが必要なほど遠い。階段でも良いので、歩いていける一時避難所を確保することも視野に入れてほしい。

皆足が速いわけではないので、お願いしたい。

→ 防潮堤は、今ある位置での整備内容を検討中で 10 月末に結果が出ます。その後どのように、何年かけて整備するかなどの説明をしたいと思います。昔漁協支所があったところと船着き場近くなどに陸閘^{りっこう}*が数カ所にありましたが、どのような規模、予算のものを整備するかが決まれば、地元説明会をしたいと思います。また、漁港の復旧も必要な発注が 100%終わるので、地元で 7 月 30 日にその説明会を行いますので、その時に地元から意見をいろいろいただければと考えています。

※陸閘（りっこう）…堤防の役割を果たす開閉可能な門戸

南ブロック提案体（工事業者）の紹介

業者名

・竹中土木・吉田測量設計・国土開発センター・山長建設共同提案体

(市長) 先ほど工事業者の紹介がありましたが、今日ご説明した案で良ければ、用地交渉と工事に入りたいということで、今日参ったわけです。

先ほど説明がありましたが、最終の事業スケジュールは当初予定通りです。しかし、その中の公営住宅は少し遅れています、学校の解体も終わりますので、早速発注していくことにご理解をいただきたいです。

今日様々な課題が出ました。屯所については、どこに作るかの場所選定が必要であり、お知恵をお借りしながら、皆さんの期待に応えられる場所に作っていきたいと思います。

次に、消防屯所と別か一体かという話が出ている集会所ですが、一体型と分離型のどちらが良いかという形状やその場所も考える必要があります。短期間でも皆さんが避難生活をするを想定すると、皆さんに一番良い避難所を選ぶ必要があります、そこはどこで、どのような施設が良いのか、そこに向かう道路をどうするかなどについて皆さんからご意見をいただきました。引き続き、避難場所・避難所は日を改めて、市の担当者も入れて原案を作り、できましたら、地域の皆さんにお示したいと思います。

課題が多くありますが、他地区でも同様であり、国からの支援が厳しくなっている中ですが、地域の皆さんの避難が一番大事ですので、その点に重点を置きながら検討したいと思います。

防潮堤についても、スケジュールは明確に示されていませんが、どんな陸閘^{りっこう}をつくるかなどについて皆さんに意見をいただき、尾崎白浜全体のまちづくりを早急に策定し、進めたいと思います。課題はありますが、今日はここまで決めさせていただければ次に進めた

いと思いますので、皆さんありがとうございます。

担当者ですが、市内部と業者、地域の皆さん3者をまとめる東海市派遣職員の船尾さんです。全体的な話は彼が取り組みますので、よろしくお願いします。

(新しい担当者の船尾氏、副市長の山崎氏、復興推進本部事務局長の田中氏を紹介)

以上